

亀山市 平成22年度ボランティアフェスティバル

(あいあい祭り)への参加

作成 大石 住夫 2010年10月21日(木)

1. 開催場所 : 亀山市総合保健福祉センター「あいあい」内
2. 開催日 : 2010年10月17日 (日) 晴れ 9:30~15:00
3. 参加者 : 蒲田, 辻, 瀧口, 瀧口あ, 松永
4. 主催者 : 亀山市社会福祉協議会, ボランティア団体
5. 内容

昨年の「あいあい祭り」実行委員会の反省会で、「子供が楽しめるブースが少なかった」との意見があり、鈴鹿森林組合に木工教室が開けないかとの打診があった。

鈴鹿森林組合から「森林の風」に協力できたら参加してとの話があり、主催者側とコンタクトをとり、木工教室は開けないがクイズ形式で「森と親しんでもらう」で良ければ参加することを話了解を得られたので参加した。

対象を小学高学年と低学年に絞り、それぞれ10問のクイズを準備した。

事前に…持ち込んだモノ

子供用 : 問題(クイズ)用紙、クイズで使用する輪切り木、輪尺2、樹高計2、辻さん所有の実生苗木、プレゼントの梅、桜、ヒノキのペンダント(合計100個)、森林の風看板

大人用 : 活動のパネル、旧冊子『水源の森プログラム』と1枚ものパンフレット

当日の状況

各ボランティアの食べ物販売、農産物の販売、景品付きゲーム及び舞台発表であった。

子供の来場者は、お母さんに連れられた子供が主であり、我々のブースにはお母さんが興味を示してくれると子供がクイズに参加してくれたが、子供より大人が熱心にクイズにチャレンジして、年輪の話、枝打ち痕を巻き込んだ輪切り木の話、輪尺による腹周りの測定、樹高計によるエンツの高さ測定などに傾いていた。子供がどれほど興味を持ってくれたのか?である。

プレゼントのペンダントは、喜んで選び家に帰って紐を付けて使用したいと持ち帰っていた。

年寄りのおばさんは、ヒノキの輪切り木は売っていないなどの話もあった。

特に呼び込みをしなかったが、30~40人位が参加してくれた。

大人の人で我々の活動に興味を持って、パネルを見たり、冊子を要望される人は3~4人と少なく、「環境フェア」や「木づかいフェア」に比べ遊びを中心のイベントであった。

来年参加の要請があった時は、未参加も含めて検討が必要と思った。

活動写真



以上